

令和6年8月  
秩父市教育委員会 定例会 議事録

開 会 : 令和6年8月27日(火) 午後2時00分  
閉 会 : 令和6年8月27日(火) 午後3時05分  
会 議 場 : 歴史文化伝承館2階会議室

出席委員 : 2番委員 浅海 純一  
3番委員 萩原 重範  
4番委員 土橋 慶子

出席者 : 教育長 前野 浩二  
事務局長 笠原 義浩  
事務局次長兼学校指導監 飯野 芳伸  
事務局次長兼保健給食課長 杉田 直之  
教育総務課長 杉田 泰三  
学校教育課長 磯田 欣央  
文化財保護課長 伊藤 暁  
教育研究所長 佐々島忠重

書 記 : 教育総務課主幹 中里 芳隆

## 1 開会宣言

教 育 長 : 令和6年8月教育委員会定例会の開会を宣言する。

## 2 署名委員の指名

教 育 長 : 本会議の議事録署名委員として、2番委員及び3番委員を指名する。

## 3 会議の公開

教 育 長 : 本会議は、公開とすることでよいか。  
(「異議なし」の声あり)  
異議なしと認め、公開とする。

## 4 前回会議の議事録の承認

令和6年7月24日に開会された7月秩父市教育委員会定例会議事録の朗読を事務局が行い、出席者の異議なく承認された。

## 5 報告事項

### (1) 教育長及び各委員からの報告事項

教 育 長 : 毎日暑いが続いていたが、市内小・中学校の夏季休業日が終了し、昨日から第2学期が始まった。休み中は、児童・生徒・教職員・施設等において、特別な対応を余儀なくされる事態は起こらず、無事に終わったものと思う。南小学校の大規模改造工事も事故防止を図りながら予定通り進んでいるようである。

先月の定例会で報告した令和6年度秩父市青少年海外派遣事業は、予定通りの日程で、参加してよかったという感想とともに、ホストファミリーの家族を中心に、たくさんの貴重な体験と楽しい思い出を胸に帰国した。

中学生の部活動の大会結果であるが、秩父第一中学校の女子ソフトテニス部個人(根岸・高林ペア)が全国大会第3位入賞、入賞は逃したが女子個人及び男子個人もベスト32となる活躍であった。同校の男女弓道部も団体、男子個人が全国大会へ出場した。全国大会入賞や全国大会に出場した生徒の皆さんおめでとうございます。そして、日頃から目標に向かって一生懸命練習に取り組んだ生徒の皆さん、指導者の皆さんに心より御礼申し上げます。また、関東大会は、秩父第二中学校の新体操部、荒川中学校の男子相撲部が、埼玉県を代表して出場した。

6月に県大会で優勝し、2回目の全国大会へ出場した秩父第一小学

校の交通安全こども自転車全国大会は、団体優勝、個人も優勝、準優勝、5位、12位と上位に入るなど、昨年準優勝だった悔しさをばねにした練習の成果が発揮された。参加した児童をはじめ、関係者の皆様に心よりお祝いを申し上げる。

無形民俗文化財で県選定・市指定の「小川の百八灯」が、8月16日に行われた。少子高齢化が進む中、小川区の区長を中心に、規模を縮小しながらも、できることを今後も続けていきたいと意思表示していただいた。また、8月25日に市指定の「三峰の獅子舞」の公開がされたが、保存会の皆様から後継者不足により、今年度をもって公開できないとの申し出があった。少子高齢化により大変残念ではあるが、昭和45年に指定以降、文化財として長年にわたり守り引き継がれてきた保存会の皆様に感謝申し上げます。

生涯学習課の担当になるが、8月3日に行われた秩父市青少年育成協議会主催の第60回を迎えた小学生対象の「子ども球技大会」は、ソフトボール4チーム、フットベースボール3チームの出場があった。昨年度は、ともに5チームの参加があり、参加チームが減っている。同様に、9月7日に行われる予定の中学生対象の第64回「少年団バレーボール大会」は、昨年度より2チーム増の14チームの参加で行われる予定である。各町会子ども会や育成会の役員の皆様には、日頃から子どもたちの地域での活動を支えていただき感謝申し上げます。

## 2 番 委 員 : 1点報告する。

8月2日に仙台市で行われた市町村教育委員会研究協議会に日帰りで出張し、文部科学省初等中等教育企画課からの情勢報告と部活動の地域移行についての分科会に参加した。

まず、文科省の情勢報告についてである。「教育委員会のあり方、地方教育行政の充実」、「教師を取り巻く環境整備」、「GIGAスクール構想」、「不登校児童、いじめ対策」、「アクティブ・ラーニングの授業改善」、「特別支援教育の充実」の6つが報告された。

「地方教育行政の充実」では、総合教育会議について、首長部局と問題意識の共有を十分図って欲しいとのことであった。令和4年度過去最高となったいじめ重大事態に関する緊急的な総合教育会議の開催等、柔軟な対応をして欲しいとの話があった。教育委員に関しては、他の自治体の教育委員との意見交換の場を積極的に設けて欲しいとの話があり、コロナ禍が明け、他自治体の教育委員との交流も、形にとらわれず行っていきたいと思った。また、教育委員会を公開するにあたり、その傍聴規則に精神に異常があると認められるものを拒否する、傍聴を認めないという規定のある教育委員会があるとの話であった。これは理由にならないので、その規定を見直して欲しいとの話があった。

「働き方改革、教師を取り巻く環境整備」では、教育調整額の引き上

げ、学級担任に対する手当等、環境整備は喫緊の課題であって、財務省との折衝もあるが、しっかり前に進めたいとのことで、改善をしていこうという意欲が感じられた。

それから「不登校児童・生徒に対する支援、いじめ対策」では、不登校児童・生徒にどう支援するか、学校に登校することのみを目標にすることではないが、学校という場所は多くの人たちとの関わりの中で様々な体験や経験を通して、実社会でも役立つ生きる力を養う場であり、そういう面で質の担保された教育機関で行うことが、強調されていた。また、関係者は不登校児童・生徒の社会的自立のために当該児童・生徒が適切な指導や支援が受けられるようにという話を伺い、学校に登校しなくても良いということではなく、学校関係者は、学校が質の担保されてる機関ということ意識して、児童・生徒の指導・支援をしていくことを再認識する必要があると感じた。

「特別支援教育の推進」では、1つ報告があり、令和4年度に通常学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒の割合を調査した。それは、全国の小・中・高校生を無作為に75,000人抽出して、対象の学級単位、無作為に抽出した児童生徒の学級担任が回答した。それを見ると、担任が、学習面また行動面に著しい困難を示している児童生徒がいる、と回答したものが、75,000人のうち、小・中学校で8.8%、高等学校で2.2%であった。その数字を見ると、全ての学校の全ての教室に特別な支援教育を必要とする児童生徒が在籍している可能性があるとの話であった。これは児童・生徒に障がいがあるのではなく、あくまでも担任の見方で、それを校長等が承認して回答したということである。一方的な見方ではあるが、75,000人の対象者であるから、通常学級には、学習面とか行動面で著しい困難を示している多くの児童生徒がいることが、大胆な調査であるが解ったということである。

後半の分科会では、まずスポーツ庁地域スポーツ課スポーツ戦略官から、今までの動静や実践事例の紹介、今後の流れについて話があった。その中で気になったのが、令和6年度に地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業をしている自治体の数、これは国からの指定を受けて自治体から手を挙げたのが、510自治体あったそうである。埼玉県でも、熊谷市、深谷市を含む10の自治体が手を挙げていて、秩父市も地域移行については、他の自治体を参考にできるのではと思った。

その後、分科会でグループ協議があり、秩父市を入れて5つの自治体の教育長、教育委員と共有したのだが、グループ分けは、過疎化の進んでいる地域で、その中では秩父市が人口が一番多かった。宮城県の2つと秋田、熊本の計4つの自治体と協議をしたが、1番の課題が送り迎えであり、スクールバスをどうするか。後は、指導者の人材不足が、それ

ぞれの自治体での課題ということであった。その中で熊本の自治体の教育長が、実証事業にかなり積極的に参加をされていた。

地域移行については、いろいろなケース、考えを持って進めているということを感じた。

- 3 番 委 員 : 教育長からも話があったが、昨日から第2学期が始まった。また、夏季休業中は特大大きな事故もなく、無事に2学期を迎えることができ、ほっとしている。今年は例年になく暑さも厳しく、子どもたちの活動についても熱中症をはじめ、心配されることが多々あった。その中でも、子どもたちが元気に活動し、優秀な成績を上げることができ、先生方が本当に頑張っていた、と感謝申し上げたい。

今年は異常な暑さで、予報を聞くとまだ相当厳しい暑さが続くのではないかと。9月、10月も相当厳しいと言われている。また、日本近海の海水温も高く、台風も多く発生すると予想され、大量の雨も想定される。特に秩父地域は土砂災害警戒区域等が多く、災害対策に十分な注意を払わなければならないことを改めて感じている。市内の小・中学校も全てが避難所に指定されており、いざというときに市民が安心して利用できるように、日頃から校舎内外の危険箇所や整備不良な箇所はないか、各学校で点検していくことが大切だと思う。いざ避難したら、あれも使えない、これも動かないでは始まらないので、教育委員会から、各学校長等を通して指導いただきたい。また、子どもたちの健康と安全を守るための防災意識を高める指導も引き続きお願いしたい。教職員に対しては、管理職が中心となり、危機管理と緊急事態に備えて緊急連絡網の確認等、準備に怠りがないようお願いしたい。秩父市内と荒川あるいは吉田では、学校の状況もそれぞれ異なるので、市が作成するマニュアル等ありきではなく、各学校が状況に応じて、柔軟に対処、対応できるように十分検討して、計画準備を整えるようお願いしたい。

- 4 番 委 員 : 1点報告する。

7月から始まった夏休みも、地震や台風の心配をする日もあったが、秩父地方は、ひどい被害もなく無事に終わり、教育長、他の委員からも話があったが、昨日から2学期が始業となった。久しぶりの学校で友達に会えるのを楽しみに、もっと休んでいたいという気持ちもある中、宿題を抱えて登校していった。給食も明日から開始予定で、今学期は運動会、持久走大会などの行事も多く、まだ暑い中、練習も始まるので、生活リズムを整え、元気に参加してほしい。学校の方では、ネッククーラーなどの利用の許可が出て、子どもたちも気分的にも、少し違うのかなと思うので、使い方に気をつけて過ごし、今後も使用が続いてくれたらと思う。

## (2)事務局からの報告事項

事務局長： 1点、秩父市議会9月定例会の予定について報告する。

秩父市議会9月定例会の会期は、明日8月28日から9月18日までの22日間。日程は、8月28日に開会し、9月2日が議案に対する質疑・議案の委員会付託、9月4日が文教福祉委員会、9月9日から11日までの3日間が市政に対する一般質問、9月18日が閉会の予定である。

付議する議案は、決算の認定が10件、条例の一部改正が4件、補正予算が8件の合計22件が付議される予定である。なお、一般質問には14人の議員が登壇する予定である。

教育委員会関係の議案では、1つ目は、令和5年度の一般会計決算の認定における教育委員会所管分となる。ただし、秩父市議会では、決算の審議は隔年で「決算審査特別委員会」を設置し審議をしており、今年度は特別委員会が設置される年であるので、文教福祉委員会での審議は行われず、今期の定例会では継続審査とし、別途日程で特別委員会で審議される予定である。

2つ目は、一般会計補正予算の中に、旧荒川幼稚園の敷地を地権者に返還するのに当たり、建物等はすでに解体が終了しているので、元の畑に原状回復するための土壌入れ替え等の敷地整備費16,877,000円、萩平歌舞伎舞台の茅葺屋根葺き替え工事が終了するのに伴い、同舞台に自動火災報知設備を設置する工事費484,000円、昨年の秩父祭でトラブルが発生した下郷笠鉾の車輪修理に係る工事費955,000円などを計上するほか、債務負担行為補正として、来年度の中学校教科書改訂に伴う教師用指導書等購入費33,000,000円を措置する予定である。

学校指導監： 3点、報告する。

1点目、市内小・中学校・幼稚園の2学期始業についてである。

昨日8月26日から市内小・中学校で第2学期がスタートした。大きな事故の報告もなく、無事に夏休みを終えることができた。なお、久那幼稚園は9月2日から2学期が始業となる。

2点目、市内小・中学校・幼稚園の運動会・体育祭についてである。

後期は、小学校11校、中学校7校、計18校と久那幼稚園が実施予定である。今年度も教育委員の皆様をはじめ市議会議員の方々、各学校でお世話になっている地域の皆様に案内状を送付している。なお、開会式前、又は開会式の中で、来賓の皆様については、お名前を紹介させていただき、また、ご挨拶については、これまでと同様に割愛させていただく。

3点目は、令和7年度埼玉県公立小・中学校等校長候補者選考試験及び教頭候補者選考試験が7月25日から8月31日までの間、行われている。本市の受験者は、校長選考に7名、教頭選考に2名である。

今年度の合格予定人数は、校長選考が約180人、教頭選考が約240人である。倍率は、校長選考が2.6倍、教頭選考が1.03倍である。なお、選考結果は、11月22日に、所属長を通じ志願者に通知することになる。

保健給食課長 : 3点、報告する。

1点目、2学期の給食についてである。

今日27日から、5つの調理場で小・中学校への給食提供を開始した。幼稚園は9月3日からの提供になる。まだまだ暑い日が続いているが、細心の注意を払って、2学期も安心安全な学校給食を提供する。

2点目、新型コロナウイルス感染症の7月の状況である。

小学生23人、中学生40人、合計63人となり、6月に比べ、増えている状況である。

3点目、給食残食率についてである。

これは、給食を残した量を各学校ごとに毎回調べている。1学期において、残食率がゼロを達成した学校が、荒川西小学校と高篠中学校の2校で報告されている。

教育総務課長 : 1点、各小・中学校の工事要望ヒアリングについて報告する。

来年度予算編成の資料とするため、各小・中学校21校を訪問し、工事要望等のヒアリングを実施した。ヒアリングに当たっては、各学校から予め提出された修繕工事等の要望書により、現状確認を行った。学校からは、100件を超える要望があり、全ての要望に応えることは財政的に大変厳しい状況なため、ヒアリングの結果をもとに、緊急性、重要性等を考慮しながら優先順位を定め、来年度に向けて必要な予算を確保していきたい。

なお、南小学校の大規模改造工事については、予定どおり順調に進んでいる。現在は大きな音の出る解体作業を終えて、屋上のシート防水や外壁塗装、内装改修を実施している。今後も引き続き、関係各所との連携に努め、工事中の安全確保には特に注意を図りながら、施工管理を行っていきたい。

学校教育課長 : 2点、報告する。

1点目、学童保育室の運営状況についてである。

昨日8月26日から2学期が開始となり、夏季休業期間中における学童保育室の1日保育も終了した。また、南学童保育室は、7月の定例教育委員会でお伝えしたとおり、校舎の大規模改造工事に伴い、夏季休業期間中、福祉女性会館1階集会室で保育を行っている。関係者の協力のもと、利用者等とのトラブルもなく、無事保育を行うことができた。また、昨日の2学期開始と同時に、小学校体育館内のトレーニングルームに移転し、工事終了の2月頃まで、保育を行う予定である。

2点目、「ラーケーション」のアンケートについてである。

7月定例教育委員会で委員の皆様にはアンケートをお願いしたが、本日、すべての委員の皆様にご回答をいただいた。なお、現在、学校へもアンケートを行っているため、それを回収後、次回の定例教育委員会で、集計結果をご報告させていただく予定である。

文化財保護課長 : 夏休み期間中に開催した児童向けの事業について報告する。

まず、武甲山資料館主催で「夏休み！武甲山の写生会」を、7月27日に羊山公園で開催し、児童13人とその保護者の方に参加いただいた。当日の早朝は曇一面の空模様であったが、写生会が始まる頃には青空となり、絶好の「写生会日和」となった。また、当日は秩父美術家協会から2名の講師を招き、参加した各児童に風景の捉え方や描き方、絵の塗り方などを丁寧にご指導いただいたとき、保護者の方も含めて大変好評であった。

次に、7月末と8月頭の2回にわたり「夏休み文化財教室」として「縄文時代体験教室」を開催し、28人の児童の参加があった。1日目の7月30日と31日は、いずれも中宮地町のクラブハウス21で土器づくりを、2日目の8月7日は聖地公園グラウンドで、1日目に作った土器の野焼きと火おこし体験を、旧秩父駅舎で勾玉づくりをそれぞれ行った。1日目の土器づくりでは、見本や資料などを参考にしながら、子どもたちがそれぞれ思い思いの「縄文土器」の形を作っていた。2日目は外での火おこし体験と野焼きで、熱中症対策を十分に図った上で教室を開催したが、特に体調不良の児童・保護者が出ることなく無事に終了できた。

教育研究所長 : 5点、報告する。

1点目、秩父第一小学校が出場した「第56回交通安全こども自転車全国大会」の結果についてである。

秩父第一小学校が団体の部で優勝し、さらに、学科テストと安全走行テストの成績が優秀なチームに贈られる「文部科学大臣賞」も受賞した。個人の部では、岩崎滉さんが優勝、江原果穂さんが準優勝、岩崎楓さんが第5位に入賞した。秩父警察署と連携し、チーム全員で代表選手の活躍を支え、練習に励んだ成果が発揮され素晴らしい結果となった。

2点目、7月27日に実施した「理科大好き教室」についてである。

埼玉大学と連携し、高篠中学校の理科室・技術室を会場に実施した。小学校5・6年生を対象に募集し、当日は28名の児童が参加した。埼玉大学准教授の松岡様と研究室の大学生9名の指導により、「色を楽しもう」というテーマで、さまざまな色を用いて、色の仕組みを学習しながら、スーパーボールづくりや色付きシャボン玉づくり等、4つの実験を体験した。子どもたちは、熱心に実験に取り組んでいた。

3点目、教員対象の生徒指導育成プログラム研修会についてである。

8月8日に「生徒指導育成プログラム研修会」を開催した。ライフス



キル認定講師中村様による指導により、23名の小・中学校教員が参加し、ワークショップ形式での研修会を実施した。望ましい人間関係づくりを通して、学級経営や生徒指導に生かせる研修会となった。

4点目、ひまわり教室・学校合同体験教室についてである。

秩父市内小・中学校の不登校、保健室や相談室登校、教育支援センター（ひまわり教室）通級児童・生徒を対象に、「体験活動を通して、参加者相互のコミュニケーションを図る」ことを目的に、7月31日に体験教室を開催した。原谷小学校の村上美結栄養教諭を講師に「みそポテトづくり」を行った。参加者は、児童1名、保護者1名、教育相談員4名の合計6名であった。午前中の短い時間であったが、参加した児童、保護者、相談員がコミュニケーションをとりながら、楽しく調理していた。2学期に向け、有意義な体験教室となった。

5点目、7月の定例会で質問のあった小・中学校における「埼玉県メンタルヘルスリテラシーツール」の活用についてである。

本ツールは、子どもたちの悩みや不安、心の不調を早期発見、対応し、困難を抱える児童・生徒を支援する体制の強化を目的として、県教委と東京大学大学院が連携し研究を進め、作成された。令和6年4月に県教委から、県内すべての小・中学校および県立高校、特別支援学校にDVDとして配布された。秩父市でも、4月の配布時に授業や教職員研修、保護者会等での活用を促してきた。また、7月末に、小・中学校長へ、2学期を迎えるにあたり、教職員が児童生徒のSOSを適切に受け止められるよう、研修資料としての活用を改めて推奨したところである。引き続き、本ツールを活用し、児童生徒の自殺予防、登校不安解消につなげていく。

### (3) 補助執行に関わる報告事項

教 育 長 : 補助執行に関わる報告事項は、今回、特にない。

## 6 議案審議

教 育 長 : 議案第22号を議題とする。事務局に議案の説明を求める。

事 務 局 次 長 : 議案第22号「令和5年度秩父市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検及び評価等について」の提案理由及び説明を述べる。

### 【質疑・応答】

3 番 委 員 : PTA活動推進事業について、保護者が学校事業やPTA活動に参加しやすいように、また、企業に支援協力をしてもらえるように働きかけたり、学校を支援してもらえるような環境づくりができないか。

教育総務課長 : PTA活動が土日になったり、負担が大きいことは理解している。

企業の管理職でもPTA活動をされた方もいると思うので、企業から支援してもらえれば体制ができればと思う。

2 番 委 員 : 高校魅力化事業（定住自立圏）について、基本事業指標の分析で、高校のバス見学を初めて行った学年が令和7年度に高校進学となるとあるが、このバス見学はどのような形で行われたのか。

教育研究所長 : 計画はあったが、コロナ禍で中止になっていた。中学1年生を対象に、令和5年度は1月に実施し、中学校市内8校と4町4校で12校をグループ分けをして、秩父高校と皆野高校は一緒に、秩父農工科学高校と小鹿野高校の3ブロックに分け、1日4区切りにして、順に回れるようにバスを手配し、高校から主に学校の概要説明や魅力を伝えてもらい、それを時間が来たら次の高校へのバスが来るのを待つ形で行った。

2 番 委 員 : 統廃合・再編成され3校になる。そのことを含めて、高校の魅力化をどう発信して、本当に厳しい、難しいことではあるが、知恵を絞って、子どもたちを地元の高校にということをお願いできればと思う。

4 番 委 員 : 小学校のスクールバスについて、路線バスがあれば良いが、バスは時刻表の改編等もあり、登校時間が変わってしまうこともある。予算等の制約もあるかもしれないが、スクールバスを続けてほしい。

教育総務課長 : スクールバスの運行は、小学校が尾田蒔小学校、影森小学校、吉田小学校、荒川西小学校、中学校が荒川中学校であり、今年度、委託業者が決まらなかったのが荒川西小学校、荒川中学校である。運転手の確保が非常に厳しい状況であり、現在、大滝地区については市職員がスクールバスを運行している。来年度については、委託によるスクールバス運行ができるように考えている。

教 育 長 : ほかに質問または意見等がなければ、この議案を原案どおり可決することではいかかがか。

（「異議なし」という声あり）

異議なしと認め、議案第22号は、原案どおり可決した。

## 7 協議事項

### (1)後援等について

教 育 長 : 後援等について、説明を求める。

教育総務課長 : 別紙のとおり、7件の協議をお願いします。

教 育 長 : 質問がないようなので、ここで委員の皆様にお諮りするが、全ての事業について、後援等を承認することではいかかがか。

（「異議なし」という声あり）

それでは、今月の後援等について、ただいまのとおり決したので、事務局には、今後の処理をお願いします。

## (2) 9月教育委員会定例会の日程について

教 育 長 : 定例会の日程について、説明を求める。

教育総務課長 : 9月教育委員会定例会について、9月26日午後2時から歴史文化  
伝承館2階会議室において開催することを御提案させていただく。  
(「異議なし」という声あり)

教 育 長 : それでは、9月教育委員会定例会については、9月26日午後2時  
から、歴史文化伝承館2階会議室にて開催する。

## 8 その他

各 委 員 : 特になし。

事 務 局 : 2点、事務連絡を申し上げる。

1点目、10月10日午後「秩父地区教育委員会連合会管内視察研修会」が皆野町で開催予定である。委員の皆様には、出席をお願いする。後日、連合会から正式に通知する。

2点目、10月25日午後1時15分から「秩父郡市人権フェスティバル」が小鹿野文化センターで開催される。委員の皆様には、出席をお願いする。

## 9 閉会

教 育 長 : 他に付議すべきことがなければ、本日の日程を全て終了する。  
以上をもって、秩父市教育委員会8月定例会を閉会する。